

文章指導例

(2008年9月26日(金)に前期レポートを返却したのち、スクリーンに提示して、文章指導したものである。)

レポート(原文 『ラ・ボエーム』のレポートの一部より。)

ムゼッタはマルチェルロの気を引くためにわざと他の男といちゃついたりして彼の気を引こうとする所は、きっとムゼッタが今まで他人からは賞賛か褒められるといった甘い言葉しか受けてこなかったから発生する気持ちだと同時にそれほどまでに彼女はマルチェルロのことを愛している心が伺える。

* 長い文章を書けばインテリだと思われる、ことはない。(闇夜汁状態。)

$f(x)$ {ムゼッタはマルチェルロの気を引くためにわざと他の男といちゃついたりして彼の気を引こうとする} 所は、/ (マルチェルロの気を引く、がダブっている。)

$g(x)$ きっとムゼッタが今まで他人からは賞賛か褒められるといった甘い言葉しか受けてこなかったから発生する気持ちだ/

$h(x)$ と同時に {それほどまでに彼女はマルチェルロのことを愛している} 心が伺える。

* 各 $f(x)$ 、 $g(x)$ 、 $h(x)$ の内部で、文章になっていない。まず最小の単位をきちんとまとめること。単位となるメッセージと、それを接続する部分とのケジメをつけること。下部の単位と、上部の単位とを、俯瞰して区別しなければならない。→下部の単位を、どのようにつなげて、上部の単位を完成するか。(ふだんは、何気なくやっていること。)

$f(x)$ {ムゼッタはわざと他の男といちゃついたりしてマルチェルロの気を引こうとする。} → { } の部分は単位として成立している。「所は」がまずい。→いったん切る。「これ $f(x)$ はおそらく、」(接続部) などとつないで、次の単位 $g(x)$ に接続する。

$f^2(x)$ {ムゼッタがわざと他の男といちゃついたりしてマルチェルロ彼の気を引こうとする} + 所をみると、(接続部) →つぎの単位 $g(x)$ に接続しやすくなる。

* ~は、とすると上位の結論の文章になる。~が、とすると下位の従属文になる。(地階(前提)、一階(推論など)、二階(結論)の区別を明瞭に意識すること。)

$g(x)$ きっと {ムゼッタが今まで他人からは賞賛か褒められるといった甘い言葉しか受けてこなかった} (単位) {から発生する気持ちだ} 上位の文章(不完全) / →

$g^2(x)$ {ムゼッタが今まで他人からは賞賛され、褒められ、といった甘い言葉しか受けてこなかった} (単位) から発生する気持ちだのために、そのような気持ちになったのであろう。(上位) / (oder) と推測される(思われる)ので、マルチェルロの無視には耐えられなかったのだらう。(など。言いたいことは、ど真ん中をきちんと書く。)

$h(x)$ と同時に {それほどまでに彼女はマルチェルロのことを愛している} (単位) 心が伺える。

$h^2(x)$ だがそれと同時に、{それほどまでに彼女がマルチェルロのことを愛している} ことが伺

が×伺える窺える（あるいは、覗える）。／

(oder) 「心が窺える」を生かしたかったら→

$h^3(x)$ **だがそれ**と同時に (接続部) <それほどまでに彼女はマルチェルロのことを愛している
> (形容詞句) **彼女** (名詞) **の心が窺える**伺える。

原文

ムゼッタはマルチェルロの気を引くためにわざと他の男といちゃついたりして彼の気を引こうとする所は、きっとムゼッタが今まで他人からは賞賛か褒められるといった甘い言葉しか受けてこなかったから発生する気持ちだと同時にそれほどまでに彼女はマルチェルロのことを愛している心が伺える。

添削1.

ムゼッタはわざと他の男といちゃついたりしてマルチェルロの気を引こうとする。これはおそらく、ムゼッタが今まで他人から賞賛され、褒められ、甘い言葉しか受けてこなかったために、そのような気持ちになったのであろう。だがそれと同時に、それほどまでに彼女がマルチェルロを愛していることが窺えるのである。

添削2.

ムゼッタがわざと他の男といちゃついたりしてマルチェルロの気を引こうとする所をみると、おそらく今まで他人から賞賛され、褒められ、甘い言葉しか受けてこなかった**ムゼッタは**、マルチェルロの無視に耐えられなかったのだらう。だがそれと同時に、それほどまでにマルチェルロのことを愛している彼女の心が窺えるのである。

添削3.

(もっとよい日本語に書き換えられうる。よい日本語を書くためには、それなりに複雑な計算と、正確な語彙と、センスが必要である。)